

## 第 4 期山形県ニホンザル管理計画（素案）の概要

### 1 計画策定の背景及び目的

ニホンザルの地域個体群の安定的な維持を図りつつ、生息数を適正な水準に減少させるとともに、その行動域を適正な範囲に抑制し、集落全体で農業被害の軽減及び人身被害の防止を図ることを目的とする。

### 2 計画の主な変更点

#### (1) 目標の変更 (P15~16)

- ・ 被害対策等の被害地区における実施率から、農業被害額と人身被害等の件数に変更。
- ・ 被害対策等の被害地区における実施率は、被害対策等の質（追払いの手法等）にばらつきがある場合、数値に反映させるのが困難なため。
- ・ 目標被害金額（現状の 75%）については、第 4 次農林水産業元気創造戦略の鳥獣による農作物被害額の低減目標に準ずる。
- ・ 人身被害等の低減の目標設定については、人身被害を及ぼす可能性のある人馴れレベル 4 の加害群れ数を指標とする。

#### (2) 群れ捕獲について、事前に専門家等の意見を踏まえ、十分に調整・準備したうえで実施を決定する旨を追記 (P12、14)

- ・ 個体数調整及び有害鳥獣捕獲を行う際に、市町村が専門家等に事前に意見を聞くこととする。

#### (3) 有害鳥獣捕獲の追記 (P13~14)

- ・ 有害捕獲実施計画について記載。